

第2回

説明文・論説文

話題と要点

◆ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

20

15

10

5

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

45

40

35

30

25

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

75

70

65

60

55

50

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

100

95

90

85

80

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(池内了「なぜ科学を学ぼうのか」より)

□問一

線①「自然のうちに」、②「居直る」の言葉の意味として最もふさわしいものを後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

① 自然のうちに

ア 生まれつき

イ 自ら学習することで

ウ 教えこまれることで

エ いつの間にか

② 居直る

ア せっばつまって急に強い態度に出る

イ 自分が間違っていたことを認める

ウ 自分の言うことを聞くようお願いする

エ どうしたらよいのか分からずに困る

□問二

線A「大事」、B「原発」、C「真相」、D「自信」のうち熟語の組み立ての異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。

□問三

線a「個人的」、b「主観的」、c「客観的」、d「具体的」の中から対義語の組み合わせを答えなさい。

□問四

——線①「科学的な考え方」とありますが、次のうち科学的な考え方にあてはまらないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。**（話題）**

- ア 低気圧が近づいているので、明日は雨が降るだろう。
- イ 来週の月曜日は遠足だから、晴れてほしいと思う。
- ウ 熱があるのは、風呂上りに体が冷え風邪をひいたためだろう。
- エ 朝の最低気温が0℃以下になれば、池に氷が張るだろう。

--

□問五

——線②「客観的な事実と個人の主観的な願望をきちんと区別することが『科学的思考』の第一歩なのです」とありますが、そのように言える理由を説明した次の文のA、B、Cには、はまる言葉を、文章中からそれぞれ指定の文字数で書きぬいて答えなさい。

何がA(二字)で何がB(九字)なのか区別がつかなくなり、論点が発散して焦点がぼけてしまい、何をC(八字)が分からなくなってしまうから。

C	B	A

□問六

——線③「まったく考えたことがなく」とありますが、これと同じ意味を表す三字の言葉を、文章中から書きぬいて答えなさい。

--

□問七

※で囲んだ段落の要点を、「科学の研究」、「思考」という言葉を使って、三十文字以内で答えなさい。**（要点）**

--	--	--

□問八

この文章を次の三つに分けると、どこで分けられますか。II・IIIのはじめの五字を、それぞれ書きぬいて答えなさい。

- I 「科学的な考え方とは何か」
- II 「個人の感情を交えないこと」
- III 「自分の経験を絶対視しないこと」

（要点）

III	II

問三

この文章で筆者が述べている内容として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 「科学的な考え方」というのは、事実を組み合わせ、不足を推理して補い、謎の解明に努めるといふ思考法であり、科学の研究のためだけではなく、私たちの日常生活のさまざまな事柄にも適用できるように考え出されたものである。

イ 「科学的な考え方」というのは客観的な事実を見つめることから始めるものであり、そこから個人的な願望や意見や私情などの入らない筋道立った推論を経たのちに合理的結論へとたどりつくものである。

ウ ある結論に対して「受け入れられない」という人の考え方の根拠はすべて、個人的な感情がもととなっているただのわがままであるといふので、それ以上議論したり問いかけたりする必要はまったくない。

エ 自分の目で見たことはすべて客観的事実であるはずなので、それを聞いた周りの人はその事情を理解して信じてあげることから合理的判断へと考えを進めて行くのが「科学的な考え方」というものである。

オ 原発事故などの重大事故をきっかけとして専門家の「科学的な考え方」というものに対する見方が変わり、みなが自分たちで合理的に判断できるように日常で鍛えておくべきであると考えるようになった。



問四

「富士山は噴火しない」と主張する人に対して、もしあなたが「噴火する可能性がある」といふ立場なら、どのように反論しますか。文章中で述べられている「科学的な考え方」と次の【資料】を参考にして、百字以内で説明しなさい。

【資料】

- ・富士山は、二百年から三百年の周期で噴火している。
- ・最後に富士山が大規模噴火したのは一七〇七年である。
